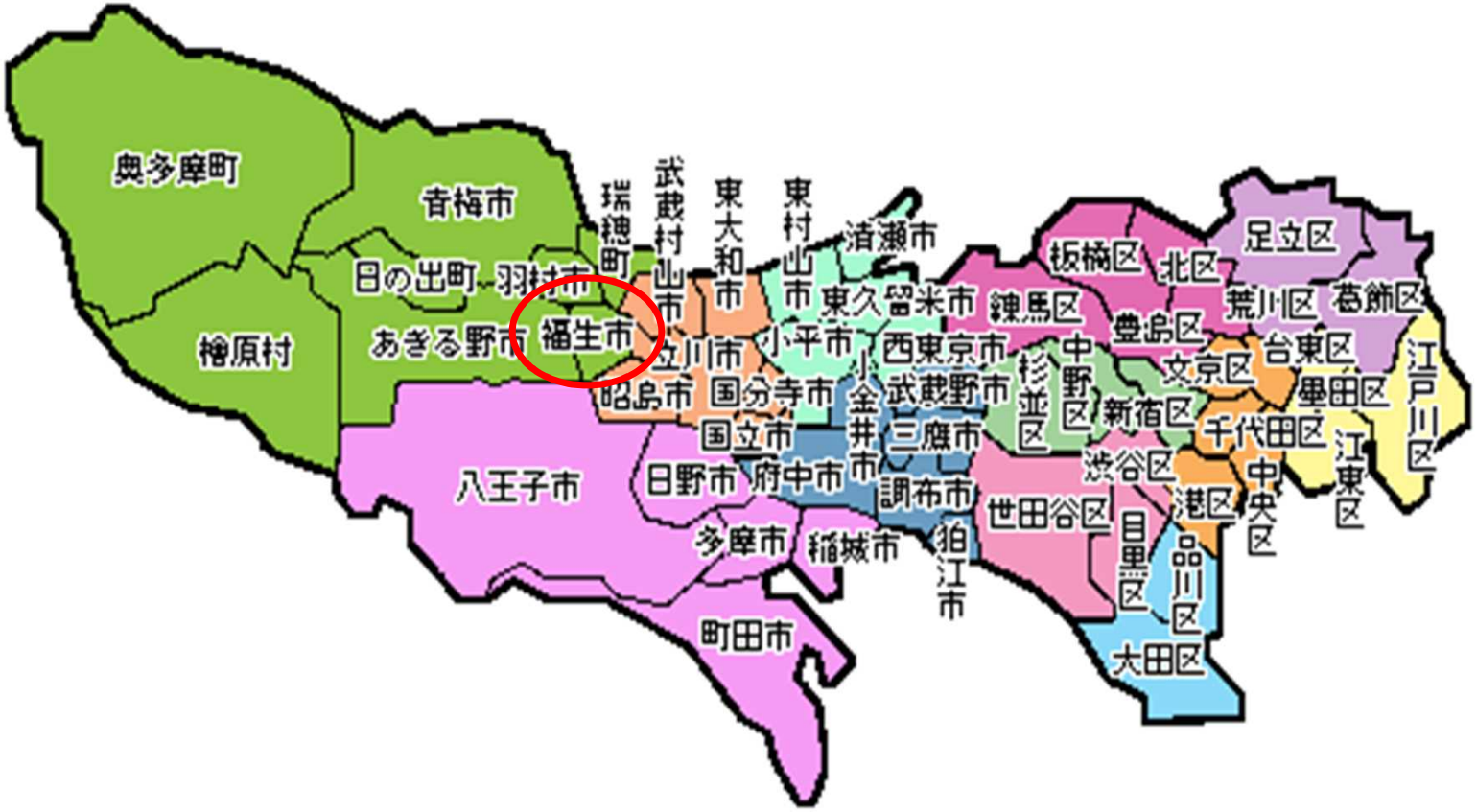
資料２

「NPO等地域団体による支援について」

YSCグローバル・スクールにおける実践、他

特定非営利活動法人　青少年自立援助センター
YSCグローバル・スクール　事業責任者
田中宝紀 IKI TANAKA

拠点　東京都福生市（ふっさし）



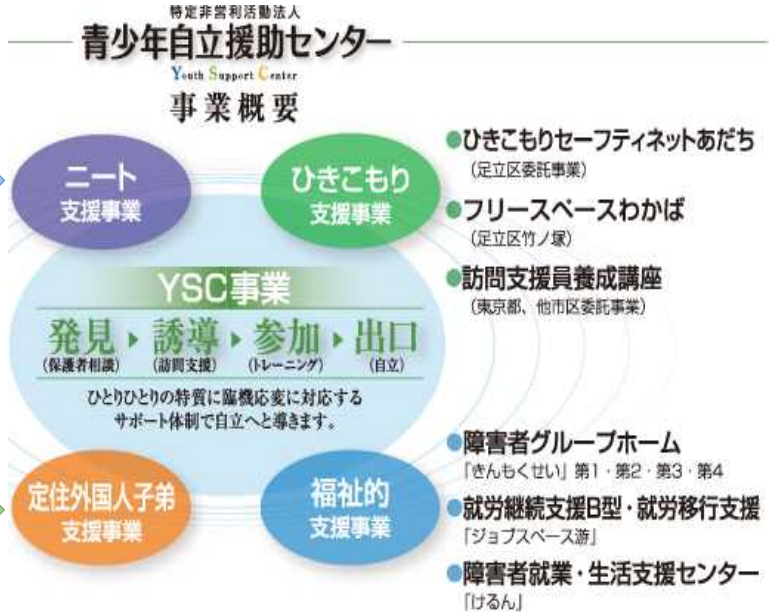
2010年度に事業部を新設し、事業を開始

自立・就労支援事業

仕事の日本語学習	キャリア教育	就労支援	就職支援セミナー

教育支援事業（ＹＳＣグローバル・スクール）

日本語教育	学習支援	就学・進学支援	遠隔地子ども学習支援（オンライン型）



2010年4月　文部科学省「定住外国人の子どもの就学支援事業」（虹の架け橋事業）受託
2013年5月　自立・就労支援事業開始
2015年3月　自主事業化（サービスの有料化）
　　内部奨学金基金制度開始
2016年11月 遠隔教育：「NICO|にほんご×子どもプロジェクト」サービスイン

年間行事：運動会、文化祭、サマーキャンプ（1泊2日）、地域祭り模擬店出店、遠足、社会科見学、大学キャンパスツアー、プログラミング、キャリア教育、外国人保護者向け進学・就学ガイダンスなど

YSCグローバル・スクールに通う子ども・若者たち

６才～３０代

【通所】東京都23区外全域、埼玉県西部、神奈川県西部、千葉県西部

【オンライン】山口県、広島県、千葉県、東京都、滋賀県、京都府、山形県、海外（インドネシア、グアテマラ）など

日本生まれ・日本育ち
～新規来日

３５の国とルーツ

フィリピン、中国、ネパール、ペルー
ロシア、バングラデシュ、ギニア、
ガーナ、ジャマイカ、アメリカ、
イラン、パキスタン、日本・・・など

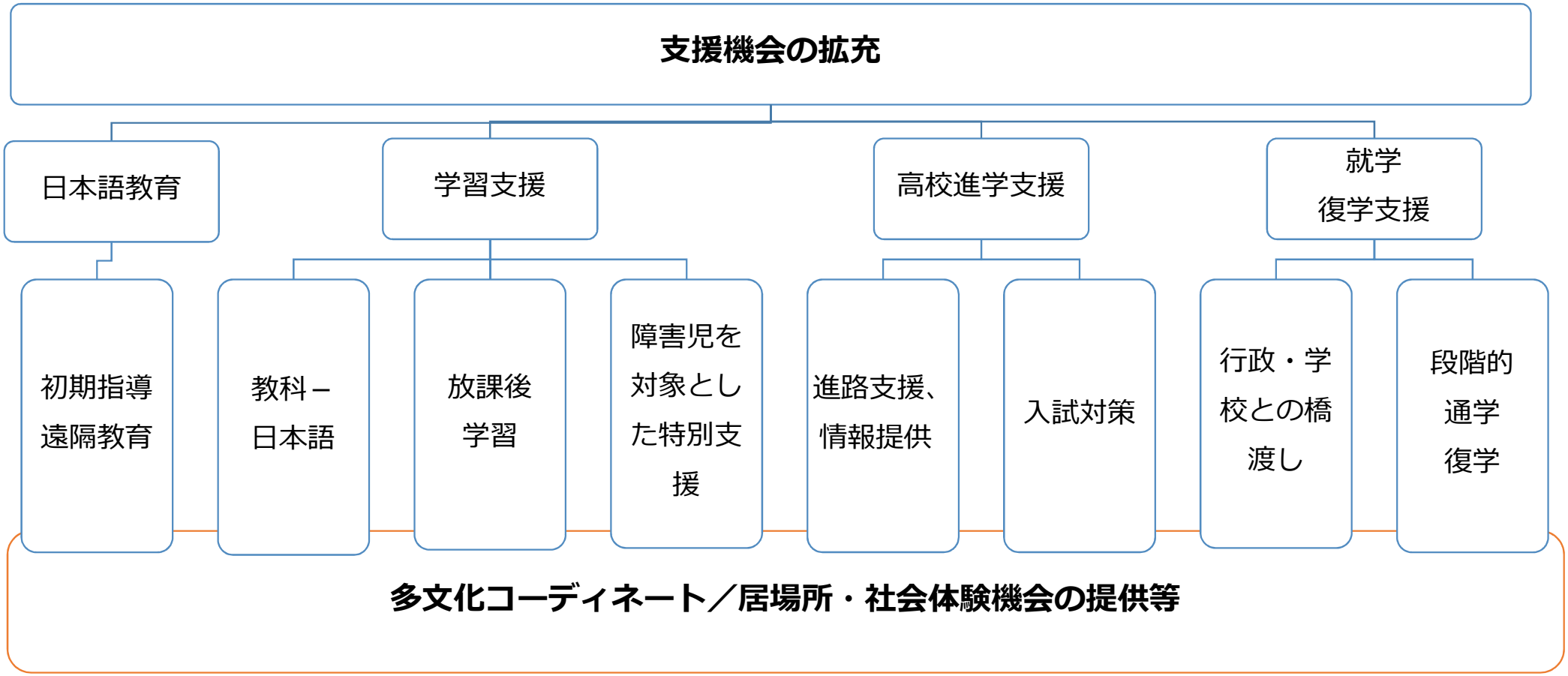
困窮・低所得家庭　２５％
ひとり親世帯　３０％
ステップファミリー　２０％

YSC Global School
ＹＳＣグローバル・スクール

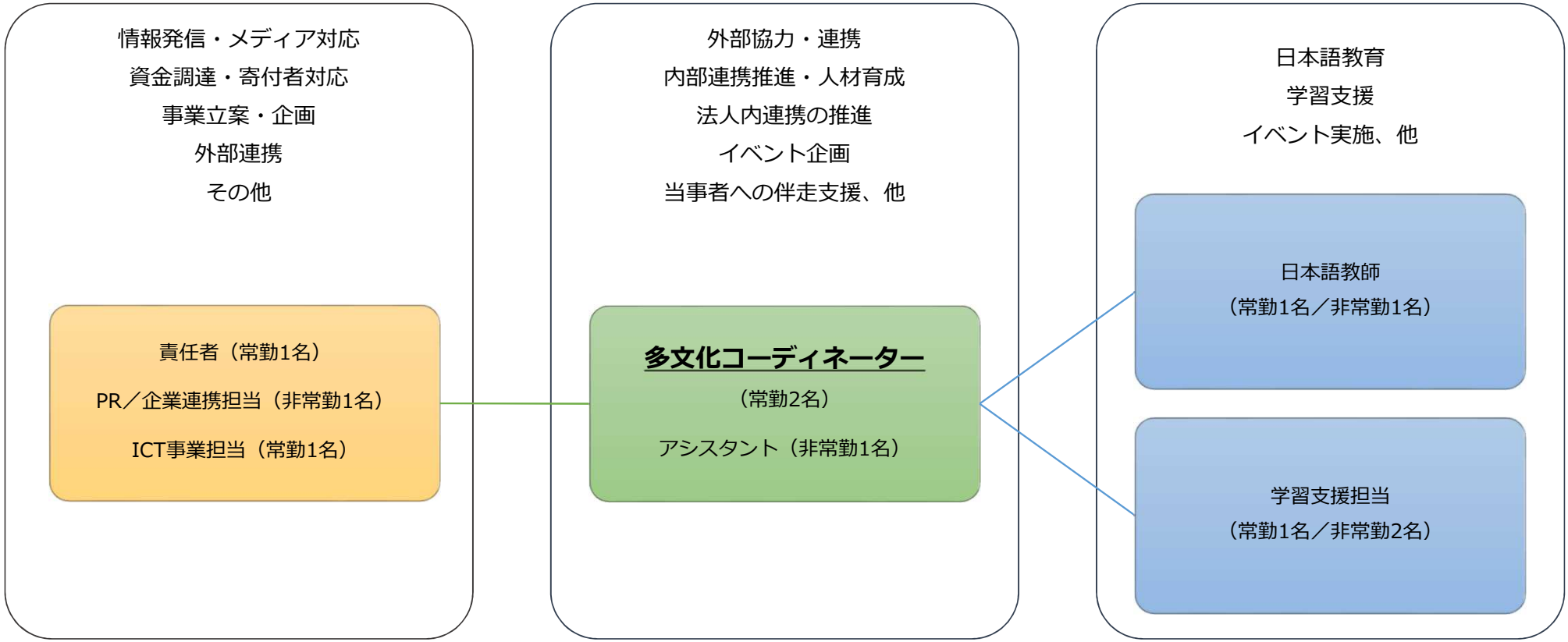
日本語学校×高校進学予備校×フリースクール×塾

	月曜日 Monday					火曜日 Tuesday					水曜日 Wednesday					木曜日 Thursday						金曜日 Friday				
9:10-9:20	朝の会 Morning Assembly																									
9:20 | 10:10	NICO 日本語プレクラス Nihongo Pre Class	NICO 日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	NICO 日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	NICO 高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class		日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class
10:20 | 11:10																										
11:20 | 12:10																										
12:10 | 1:10	昼休み Lunch Break																									
1:10-1:20	掃除 Cleaning Time																									
1:20 | 2:10	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class	日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class		日本語プレクラス Nihongo Pre Class	日本語ブリッジクラス Nihongo Bridge Class	日本語ジャンプクラス Nihongo Jump Class	高校進学プレップクラス Prep Class	ステップクラス Step Class
2:20 | 3:10																										
3:10-3:20	帰りの会 Assembly befor Leaving School																									
3:20 | 4:10							NICO 日本語キッズみつば Nihongo kids "MITSUBA"										日本語キッズみつば Nihongo kids "MITSUBA"									
4:10 | 5:00	キッズホープ Kids 'HOPE'	キッズチャレンジ Kids 'CHALLENGE'	NICO N3対策 JLPT-N3 Preparation			日本語キッズわかば Nihongo Kids "WAKABA"	日本語キッズよつば Nihongo kids "YOTSUBA"	キッズチャレンジ Kids 'CHALLENGE'			キッズホープ Kids 'HOPE'	キッズチャレンジ Kids 'CHALLENGE'				日本語キッズわかば Nihongo Kids "WAKABA"	日本語キッズよつば Nihongo kids "YOTSUBA"	キッズチャレンジ Kids 'CHALLENGE'			学習 えじそん "EDISON" Study	キッズホープ Kids 'HOPE'	キッズチャレンジ Kids 'CHALLENGE'			
5:10 | 6:00			グローバルアフタースクール中1 Global After School G7	グローバルアフタースクール中2 Global After School G8	NICO 放課後プレップクラス Prep After School	日本語キッズあおば Nihongo Kids "AOBA"			グローバルアフタースクール中2 Global After School G8	放課後プレップクラス Prep After School			グローバルアフタースクール中1 Global After School G7	グローバルアフタースクール中2 Global After School G8	放課後プレップクラス Prep After School	日本語キッズあおば Nihongo Kids "AOBA"			グローバルアフタースクール中2 Global After School G8	放課後プレップクラス Prep After School	えじそん "EDISON"			グローバルアフタースクール中1 Global After School G7	グローバルアフタースクール中2 Global After School G8	放課後プレップクラス Prep After School
6:10 | 7:00																										

YSC グローバル・スクールのサービス提供範囲



職員配置(1日あたり)


情報発信・メディア対応
資金調達・寄付者対応
事業立案・企画
外部連携
その他
責任者（常勤1名）
PR／企業連携担当（非常勤1名）
ICT事業担当（常勤1名）
外部協力・連携
内部連携推進・人材育成
法人内連携の推進
イベント企画
当事者への伴走支援、他
多文化コーディネーター
（常勤2名）
アシスタント（非常勤1名）
日本語教育
学習支援
イベント実施、他
日本語教師
（常勤1名／非常勤1名）
学習支援担当
（常勤1名／非常勤2名）

支援の流れ

発見

- 地域ネットワーク構築・維持
- アウトリーチ

誘導

- 相談
- 家庭訪問
- 居場所感の早期確立

参加

- 日本語教育（初期集中）
- 日本語と教科学習の橋渡し
- 学習支援
- イベント、社会体験、キャリア教育等

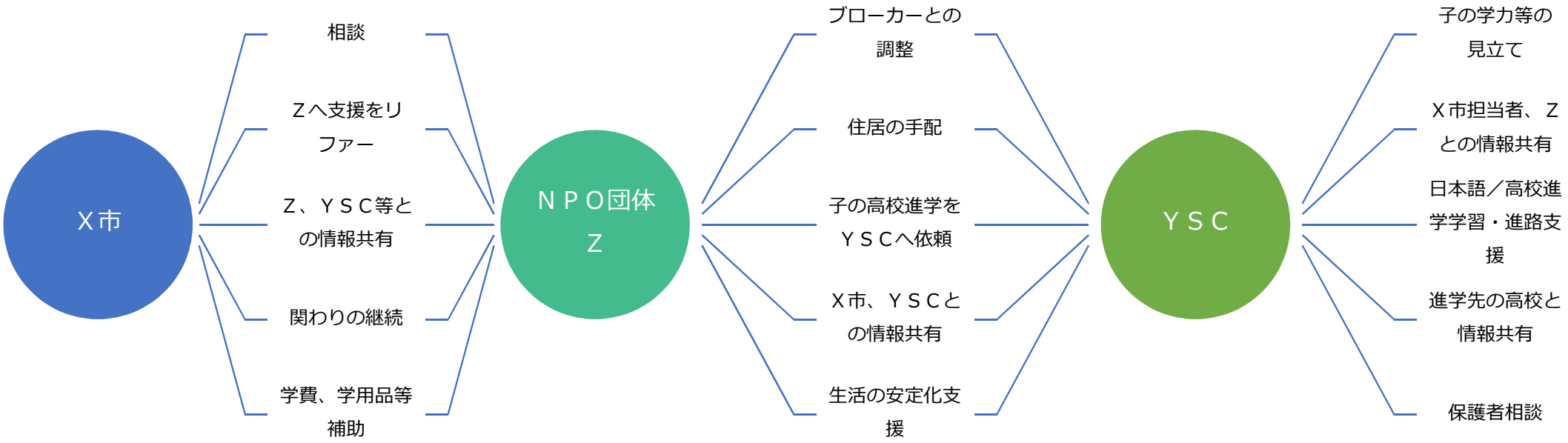
出口

- 段階的な復学
- 高校進学
- 内・外リソースへのリファー

多文化コーディネーターによる伴走支援＋外部等関係機関連携支援

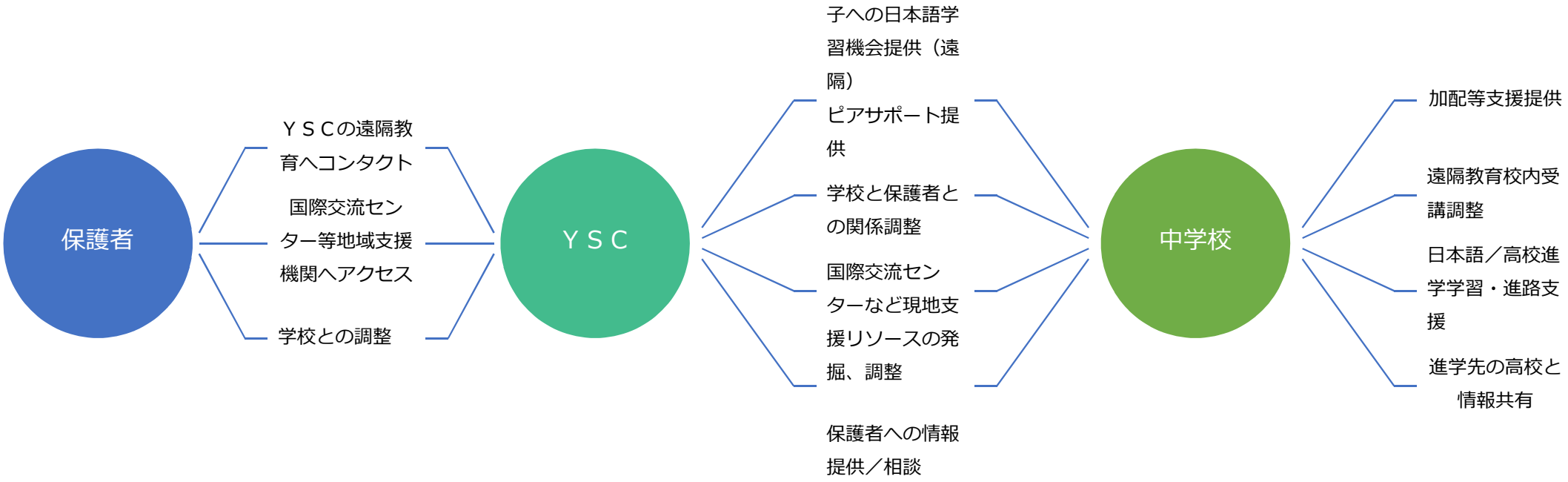
フィリピンルーツ（日本国籍）10代後半　サポート事例（自治体×NPO連携）

・保護者が日本人配偶者とフィリピンにて結婚→離婚
・離婚後、ブローカーに騙され、日本就労の為に多額の費用を支払い母子で来日
・空港で親と子はバラバラに→異なる場所で就労
・親子合流→都内Ｘ市のブローカー手配住居に入居→保護者がＸ市に相談→Ｘ市が困窮者自立支援事業委託ＮＰＯ団体Ｚへリファー
・ＮＰＯ団体Ｚが子の進学支援をＹＳＣにリファー



日本ルーツ（日本国籍）中学生　遠隔による日本語学習サポート事例（学校×NPO連携）

・ひとり親家庭
・中学でＸ県Ｚ市に「帰国」／中学校では加配等による日本語支援を提供
・子が日本での生活に抵抗感、加配支援終了後も発話が見られず、孤立状態／学校から足が遠のく
・保護者と学校のコミュニケーションに行き違い等がある状況
・保護者がＹＳＣの遠隔教育プログラムへコンタクト



その他の連携、協業

学校

- YSCにおける（日本語初期指導等）学習を学校の出席として扱う（YSCはレポートを学校へ提出）
- YSCの授業料を自治体が補助
- 学級担任と生徒情報の共有（文化差異や出身国の教育制度の違いによる注意点、本人特性、家庭の状況等）
- 学校―保護者間のコミュニケーションを支援（誤解や行き違いの解消

自治体関係機関

- 子ども家庭支援センター／民生委員／警察（少年課）／児童館等と地域内の子どもに関する情報共有（ケース共有）
- それぞれの役割に応じて、子どもおよび家庭の支援を実施（子ども家庭支援センタ→生活支援、民生委員→見守り、SSW→登校支援等、YSC→子の学習支援および保護者相談等

地域資源

- ボランティア団体との連携
  →ボランティア活動日以外の支援をYSCが担当
  →保護者の日本語学習をボランティアが担当／子はYSCへ
- 都内NPO、国流、高校等とネットワークを組み、協働で「多言語（高校）進学ガイダンス」を実施
- 遠隔の場合、日本語教育以外の地域支援はボランティアや国際交流協会と連携

企業、大学、個人等

- 資金調達／啓発活動サポート
- プログラミング教育等コンテンツ支援
- 物資支援
- 学生研修受入れ等
- 若者支援団体、塾等による海外ルーツの青少年支援相談
- 弁護士等によるプロボノ支援

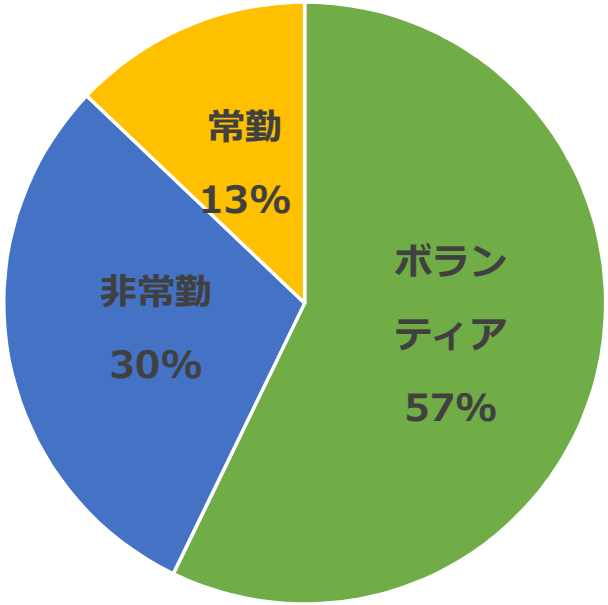
（YSC版）多文化コーディネーターの役割

ネットワーキング	包括的支援の実現	当事者支援
• 地域資源の発掘・把握 • 顔の見える、敷居の低い関係構築と維持 • 地域資源の育成（教員対象研修講師など）	• 必要な支援要素の見立て他機関への支援要請 • 当事者に関する情報共有 • 他機関支援者の支援情報提供	• 相談 • 情報提供 • 同行支援等

◆ YSC多文化コーディネーターの基盤は「虹の架け橋」事業受託時代に蓄積された経験に基づいている
◆ その特徴は「常勤」であり「いつでも連絡が取れ」「教員や行政職員等が外国人対応で直面する“困った”に応え得る専門知識と情報を有する」こと（地域の「外国人対応専門家」として活動
◆ 「学校の外」にあり「民間」であることにより、以下のようなメリットを有する
1）広域対応が可能／散在状態の地域とも連携が可能
2）幅広いセクターとの柔軟な協働が可能（他NPO、ボランティア、外国人コミュニティ、自治体、企業、大学など）
3）支援領域を超えた協働が可能（障害福祉、自立就労、貧困など）
4）必要に応じ、自らの立ち位置と役割を変化させやすい
5）不就学、不登校、学齢超過など「学校の外」にいる子どもたちにいち早く対応可能

地域支援の傾向

日本語教師雇用形態別内訳

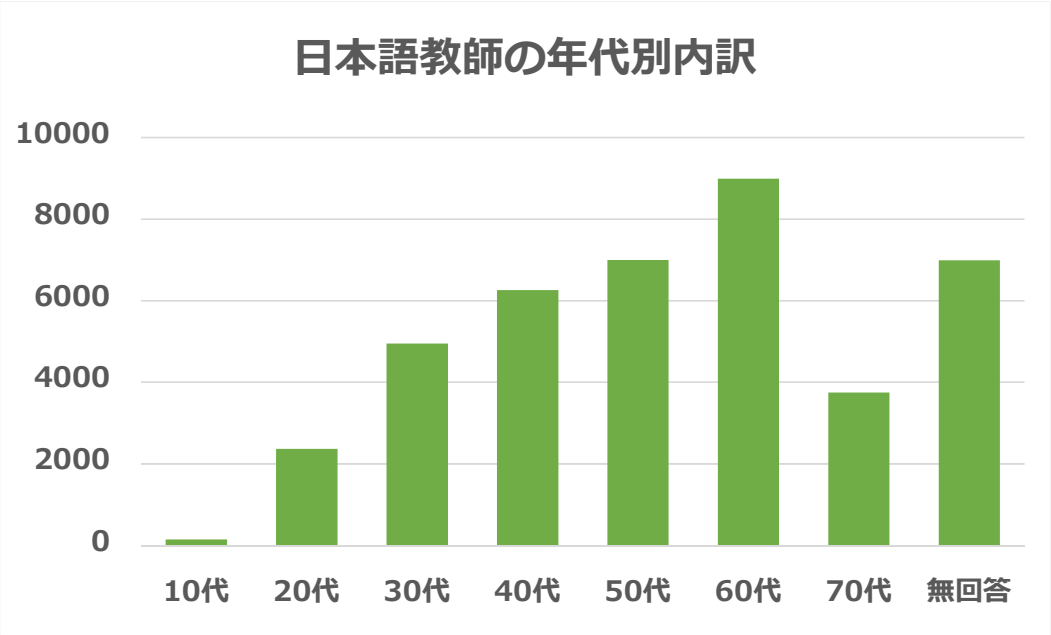


<ボランティア教師の割合>

教育委員会　67%

NPO・任意団体　80%

国際交流協会・地方公共団体　92%



文化庁「平成29年度国内の日本語教育の概要」より作成

6歳　12歳　15歳　18歳

＊国際学級・取り出し・入り込み・通訳支援
⇒自治体の温度差／支援の質と量に地域間格差

小学校・中学校

「日本語指導が必要な児童生徒」4万4千人の内、
1万人が学校で無支援状態

高校進学率
推計70%？

高校

学校ごとに対応にバラツキ
今後、体制整備

・・・

不就学 8千人（？）

不登校（不明）

進路未決定者

既卒（学齢超過者）

中退 9.6%（日本語指導必要生徒）

進路未決定 18%（日本語指導必要生徒）

ボランティア・NPO等による支援

＊多くが**無給のボランティア**が担う。週1回程度で量的に不足
＊ボランティアの活動がない地域や豪雪地帯などで**アクセスが限られる**地域も少なくない
（不就学・不登校・既卒の子どもの受け皿になりづらい）
＊ボランティア自身の**「高齢化」**が問題に（継承者不足）

学校の外側の資源／セーフティネットが脆弱

夜間中学

＊数が十分でない（県内でもアクセスできない）
＊教員が「手探り」の指導
＊日本語学級設置校でない場合、受入れしづらい

NPO等による支援はまだ手薄

ハローワーク／外国人就労・定着支援研修／外国人雇用サービスセンター等

＊**在留資格（家族滞在者、日本国籍保有者など）で利用できない**ものも
＊「就労意欲がない者」が参加しづらい

地域若者サポートステーション等、公的または民間の「自立就労支援」

＊「日本人」を念頭に置いた事業は**日本語の壁が存在**
（支援の情報が届かない／**支援者自身がどう対応して良いかわからない**）

既存の支援×（日本語教育＋合理的配慮）

外国人ネットワーク
とのつながり
やさしい日本語
文化・宗教的配慮
在留資格等の情報

多文化対応
スキル

×

無料学習支援
子ども食堂
フードバンク
学習塾、障害福祉
その他

公的支援・
民間事業

→

海外にルーツを持つ子どものための包括的支援体制の拡充